

## 平成24年度 普通会計決算の概要

普通会計とは、地方公共団体相互の比較のため、地方財政統計上で統一的に用いられる会計区分のことであり、筑前町においては、「一般会計」及び「住宅新築資金等貸付事業特別会計」で構成しています。以下、ここで用いる数値は、平成24年度地方財政状況調査（通称：決算統計）の数値を用いての報告とします。また、平成24年度は、同一会計（普通会計）内での住宅新築資金等貸付事業特別会計から一般会計への繰入金（3,000千円）、住宅新築資金等貸付事業特別会計から一般会計への繰出金（3,000千円）があり、決算統計の計上要領により、純計操作を行なって歳入及び歳出計上しないこととなっているため、一般会計歳入決算額及び住宅新築資金等貸付事業特別会計歳出決算額とは、それぞれの決算書での決算額とは3,000千円異なることを付記します。また、ミニ公募債一括償還のための歳入及び歳出（100,000千円）についても、決算統計上の要領により計上しないこととされているため、一般会計決算書とは異なることも併せて付記します。

### 1. 普通会計における成果

本年度は、筑前町総合計画後期基本計画（平成24年度から28年度）の初年度であり、前期計画からの基本的なスタンスである「計画的な事業推進、持続性のある町財政と創造のまちづくり」の推進に向けて、実施計画を基に合併特例債の有効活用、各種補助金等を活用した予算編成を行いました。安定した財政運営を継続すべく、町債の繰上償還の実施、財政調整基金や公共施設等整備基金、将来的な償還に備えた農業振興基金等の積立を行いました。

道路・交通網の整備事業においては、広域的アクセスの向上と町内地域間の連携強化、安全性、利便性の向上を図るために、南北線道路改良事業や主要生活道路整備事業を計画的に実施し、バス停・駐輪場の整備も行いました。

農業の振興においては、農地・水保全管理対策の推進、水田農業担い手機械導入支援事業、活力ある高収益型園芸産地育成事業、園芸農業対策補助事業等を実施し、集落営農や認定農業者等の育成・支援を図りました。また、農道整備改良事業、県営ため池整備事業を引続き実施し、農業基盤の整備を図りました。林業振興については、荒廃森林再生事業を活用し、森林整備の促進を行いました。他に、そったく基金を活用し、黒大豆等を使った町特産品の開発に取組み、食を通じた農業振興を図りました。

商業の振興においては、商工会への補助、プレミアム付き商品券発券への補助を実施し、賑わいと活力あふれるまちづくりの一環として、商工会の育成に努めました。

学校教育環境整備においては、東小田小学校の大規模改修工事を行なうとともに、翌年度以降に予定の夜須中学校グラウンド整備事業に備えた実施設計を行いました。また、三輪小学校給食の業務委託等も行いました。

地域福祉の充実面においては、年々増加している高齢者や障がい者に対し、必要な支援を提供するとともに、そったく基金を活用した個別施策等も継続しました。また、少子化対策のための白梅保育園の創設整備を行いました。

公園・緑地の整備においては、多目的運動公園整備事業の工事に着工しました。

住宅施策の推進においては、公営住宅ストック活用総合計画に基づき、老朽化した篠隈町

営住宅の建替工事に着手しました。

さらに、本年度は梅雨前線豪雨による災害が多かったことから、災害復旧をより優先して取り組んできました。

財源確保の面においては、各種補助金を最大限活用するとともに、昨年度同様、税の徴収強化対策に継続して取り組みました。

#### 【今後の財政運営について】

筑前町総合計画後期基本計画に基づき、今後も諸施策を推進していくこととなりますが、安定した財政運営が必要不可欠であることは言うまでもありません。これまでも、合併特例債事業をはじめとして、数多くの普通建設事業を町債で展開してきたことにより、地方債残高が増加しましたが、借入を償還の9割以下に抑制していることから、町債は減少しており、これを継続させる必要があると思われまます。

本町を取り巻く財政状況について、歳入面では本町の基幹収入である町税は、平成25年度当初予算計上では昨年度に比べ、若干の増収を見込んではいるものの、現状では多くの増収が見込めないため、自主財源の確保は、基金の繰入に頼らなければならない厳しい状況に変わりはありません。

歳出面では、扶助費、公債費などの義務的経費は増加傾向が見込まれ、少子・高齢化対策、多目的運動公園整備、町営住宅整備、道路整備、農業振興対策の他、水道事業、企業誘致対策など、本町が取り組むべき課題が山積し、加えて行政サービスの多様化にも対応しなければならないため、今後も多額の財政負担を伴う事業を遂行していかねばならない状況にあります。

また、4つの指標「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」により財政の健全性を判断することとされていますが、本町における財政指標については、合併特例債事業、数多くの普通建設事業、上・下水道事業、一部事務組合への繰出金などの増加から、起債許可団体の判定基準18%に対して平成23年度決算での実質公債費比率は14.6%（県内町村平均10.3%・県内類団平均11.0%）であり、決して低い数値ではない状況です。さらに、本町の普通交付税の算定は、合併算定替の特例が適用されており、平成24年度は約5.5億円の増額交付を受けています。この特例は、平成26年度まで適用され、その後5年間は段階的に縮減し、平成32年度から適用されなくなるため、財政構造の転換を図ることが必要です。

これらの情勢を踏まえ、持続的に本町を財政運営していくために、厳しい財政状況の下、限られた財源の中で、総合計画実施計画とそれを基にした財政計画、行政評価との連動により、事業の必要性、事業効果、緊急性、後年度の負担等を十分に検証し、計画的に必要な事業を実施していくことで、健全財政のまちづくりに向けて取り組みを進めていきます。

## 2. 普通会計における財政状況

### (1) 決算収支状況 (表1参照)

歳入総額 11,561,118 千円 (対前年度 5.7%)  
 (一般会計 11,546,887 千円 + 住宅新築資金等貸付事業特別会計 14,231 千円)  
 歳出総額 11,257,275 千円 (対前年度 6.3%)  
 (一般会計 11,253,037 千円 + 住宅新築資金等貸付事業特別会計 4,238 千円)  
 歳入歳出差引額 303,843 千円 (対前年度 +23.6%)  
 (一般会計 293,850 千円 + 住宅新築資金等貸付事業特別会計 9,993 千円)  
 実質収支額 298,969 千円 (対前年度 +22.3%)  
 (一般会計 288,976 千円 + 住宅新築資金等貸付事業特別会計 9,993 千円)

表1 決算収支の状況

(単位:千円)

区分	歳入総額 (A)	歳出総額 (B)	歳入歳出差引 A - B (C)	翌年度へ繰越す べき財源 (D)	実質収支 C - D (E)
H24 年度	11,561,118	11,257,275	303,843	4,874	298,969
H23 年度	12,262,781	12,016,890	245,891	1,484	244,407
増 減	701,663	759,615	57,952	3,390	54,562
区分	単年度収支 (F)	積立金 (G)	繰上償還金 (H)	積立金取崩し額 (I)	実質単年度収支 (F)+(G)+(H)-(I) (J)
H24 年度	54,562	310,817	155,554	0	520,933
H23 年度	31,281	23,648	156,304	79,000	69,671
増 減	85,843	287,169	750	79,000	451,262

歳入は、主に地方交付税が微増となるものの、地方税、国県支出金、繰入金、地方債、地方譲与税等の減により、11,561,118 千円 (対前年度 5.7%)、歳出は、扶助費、積立金等が増となるものの、人件費や投資的経費、物件費、補助費、公債費等がマイナスとなり、11,257,275 千円 (対前年度 6.3%) となりました。実質収支は、298,969 千円の黒字決算となりました。単年度収支は、54,562 千円、実質単年度収支は、520,933 千円の黒字決算となりました。

### (2) 歳入の状況 (表2参照)

歳入については、前年度と比較し、主に諸収入(+225,299 千円)、地方交付税(+28,185 千円)、財産収入(+24,695 千円)、自動車取得税交付金(+14,107 千円)等は増となりますが、繰入金(476,902 千円)、町債(204,288 千円)、国庫支出金(142,453 千円)等の減により、歳入総額 11,561,118 千円、対前年度 701,663 千円減の 5.7%となりました。

表2 普通会計の歳入決算の状況

(単位:千円・%)

区 分	平成24年度		平成23年度		対前年度		
	歳入額	構成比	歳入額	構成比	増減額	増減率	
自主財源	町税	2,934,027	25.4	2,954,743	24.1	▲ 20,716	▲ 0.7
	分担金及び負担金	127,355	1.1	145,787	1.2	▲ 18,432	▲ 12.6
	使用料及び手数料	292,761	2.5	309,377	2.5	▲ 16,616	▲ 5.4
	財産収入	130,587	1.1	105,892	0.9	24,695	23.3
	寄付金	799	0.0	291	0.0	508	174.6
	繰入金	86,893	0.8	563,795	4.6	▲ 476,902	▲ 84.6
	繰越金	245,891	2.1	311,974	2.5	▲ 66,083	▲ 21.2
	諸収入	505,278	4.4	279,979	2.3	225,299	80.5
	小計	4,323,591	37.4	4,671,838	38.1	▲ 348,247	▲ 7.5
依存財源	地方譲与税	156,110	1.4	166,918	1.4	▲ 10,808	▲ 6.5
	利子割交付金	6,329	0.1	7,590	0.1	▲ 1,261	▲ 16.6
	配当割交付金	4,903	0.0	4,744	0.0	159	3.4
	株式等譲渡所得割交付金	1,262	0.0	1,173	0.0	89	7.6
	地方消費税交付金	233,142	2.0	234,468	1.9	▲ 1,326	▲ 0.6
	ゴルフ場利用税交付金	16,356	0.1	17,787	0.1	▲ 1,431	▲ 8.0
	自動車取得税交付金	56,461	0.5	42,354	0.3	14,107	33.3
	地方特例交付金	16,587	0.1	49,633	0.4	▲ 33,046	▲ 66.6
	地方交付税	4,093,935	35.4	4,065,750	33.2	28,185	0.7
	交通安全対策特別交付金	6,683	0.1	6,504	0.1	179	2.8
	国有提供施設等所在市町村助成交付金	12,425	0.1	11,589	0.1	836	7.2
	国庫支出金	943,667	8.2	1,086,120	8.9	▲ 142,453	▲ 13.1
	県支出金	721,101	6.2	723,459	5.9	▲ 2,358	▲ 0.3
	町債	968,566	8.4	1,172,854	9.6	▲ 204,288	▲ 17.4
小計	7,237,527	62.6	7,590,943	61.9	▲ 353,416	▲ 4.7	
歳入合計	11,561,118	100.0	12,262,781	100.0	▲ 701,663	▲ 5.7	
経常一般財源	7,157,126	61.9	7,181,972	58.6	▲ 24,846	▲ 0.3	

構成比については、端数処理のため合計と合わないことがあります。

財源構成

一般財源	7,519,112	65.0	7,545,160	61.5	▲ 26,048	▲ 0.3
特定財源	4,042,006	35.0	4,717,621	38.5	▲ 675,615	▲ 14.3

町税 (2,934,027 千円)

町税については、歳入総額の 25.4% を占める最も重要な自主財源です。個人・法人町民税等は増となりましたが、固定資産税の大幅な減少により、対前年度 20,716 千円減の 0.7% となりました。

また、徴収率(現年度課税分)については、財源確保をおこなうために、税の徴収強化対策の取り組みに努め、97.6% で対前年度 + 0.1% となりました。滞納分は、21.5% で対前年度 + 1.4% となりました。

(単位：千円、%)

税目	H24年度	H23年度	増減額	対前年度比
個人町民税	1,036,456	983,686	52,770	5.4
現年課税分	1,021,038	968,264	52,774	5.5
滞納繰越分	15,418	15,422	4	0.0
法人町民税	169,262	159,700	9,562	6.0
現年課税分	168,063	159,507	8,556	5.4
滞納繰越分	1,199	193	1,006	521.2
固定資産税	1,443,118	1,526,569	83,451	5.5
現年課税分	1,400,321	1,483,709	83,388	5.6
滞納繰越分	42,797	42,860	63	0.1
軽自動車税	67,352	65,199	2,153	3.3
現年課税分	66,137	63,985	2,152	3.4
滞納繰越分	1,215	1,214	1	0.1
たばこ税	210,810	212,740	1,930	0.9
入湯税	7,029	6,849	180	2.6
合計	2,934,027	2,954,743	20,716	0.7

#### 地方交付税 (4,093,935 千円)

\* 地方交付税については、対前年度 28,185 千円増の +0.7%となりました。

普通交付税 3,709,153 千円 (+0.8%)(H23: 3,680,488 千円)

\* 主に町税の減(特に固定資産)及び公債費の合併特例債償還費の増により、対前年度 28,665 千円増の +0.8%となりました。

特別交付税 384,782 千円(0.1%)(H23: 385,262 千円)

(震災復興特別交付税 7 千円含)

\* 主に普通建設事業費の減により対前年度 480 千円減の 0.1%となりました。

#### 分担金及び負担金 (127,355 千円)

\* 主に筑慈苑関連事業(14,966 千円)、地域水田農業再編緊急整備事業(3,665 千円)による分担金の減により、対前年度 18,432 千円減の 12.6%となりました。

#### 使用料及び手数料 (292,761 千円)

使用料 212,486 千円(H23: 228,608 千円)(7.1%)

\* 主に大刀洗平和記念館の入館料(8,448 千円)等の減により、対前年度 16,122 千円減の 7.1%となりました。

手数料 80,275 千円(H23: 80,769 千円)(0.6%)

\* 主にごみ収集手数料(779 千円)等の減により、対前年度 494 千円減の 0.6%となりました。

国庫支出金 (943,667 千円)

H23 : 1,086,120 千円 ( 142,453 千円 )( 13.1% )

\* 主に平成 23 年度事業であった、きめ細かな交付金 ( 88,280 千円 )、住民生活に光をそそぐ交付金 ( 20,600 千円 )、老人保健事業推進費等補助金 ( 19,837 千円 )、小規模地方公共団体対策技術率先導入補助金 ( 17,150 千円 ) が減となりましたが、平成 24 年度は、主に下記補助事業により、対前年度 142,453 千円減の 13.1 となりました。

\* こども手当及び児童手当負担金

369,606 千円 ( H23 : 436,690 千円 )( 67,084 千円 )

\* 社会資本整備総合交付金 ( 道路・公園・住宅整備 )

256,796 千円 ( H23 : 207,084 千円 )( + 49,712 千円 )

\* 障害者自立支援給付費負担金

170,799 千円 ( H23 : 158,632 千円 )( + 12,167 千円 )

\* 保育所運営費負担金 39,576 千円 ( H23 : 33,277 千円 )( + 6,299 千円 )

県支出金 (721,101 千円)

H23 : 723,459 千円 ( 2,358 千円 )( 0.3% )

\* 主に平成 23 年度事業であった介護基盤整備関係補助金 ( 介護基盤緊急整備補助金、介護施設開設準備特別対策事業費補助金 75,560 千円 ) 等の減により、保育施設整備等補助金による増はあったものの、対前年度 2,358 千円減の 0.3% となりました。

財産収入 (130,587 千円)

H23 : 105,892 千円 ( + 24,695 千円 )( + 23.3% )

\* 各種基金利子が、対前年度 19,769 千円の増、土地開発公社出資金返還金 ( 18,322 千円 ) の増により、対前年度 24,695 千円増の + 23.3% となりました。

寄附金 (799 千円)

H23 : 291 千円 ( + 508 千円 )( + 174.6% )

ふるさと応援寄附金 475 千円 ( ふるさと応援基金へ積立 )( H23 : 70 千円 )

大刀洗平和記念館寄附金 103 千円 ( H23 : 0 千円 )

繰入金 (86,893 千円)

H23 : 563,795 千円 ( 476,902 千円 )( 84.6% )

\* 主な内容としては、多目的運動公園整備事業費の減による公共施設等整備基金繰入金の減 ( 248,722 千円 )、上水道給水装置整備事業費の減等による地域振興基金繰入金の減 ( 155,690 千円 ) 等の要因により、各基金からの繰入金は 86,893 千円 ( 対前年度比 84.6% ) となりました。

財政調整基金繰入金 0 千円 ( H23 : 79,000 千円 ) ( 79,000 千円 )  
 地域振興基金繰入金 0 千円 ( H23 : 155,690 千円 ) ( 155,690 千円 )  
 公共施設等整備基金繰入金 41,740 千円 ( H23 : 290,462 千円 )  
 ( 多目的運動公園整備事業へ全額充当 ) ( 248,722 千円 )  
 農業振興基金繰入金 11,107 千円 ( H23 : 25,369 千円 ) ( 14,262 千円 )  
 ( 園芸農業対策事業費補助金へ全額充当 )  
 そったく基金繰入金 19,421 千円 ( H23 : 12,060 千円 ) ( + 7,361 千円 )  
 ( 政策支援事業 1,480 千円充当 )  
 ( 在宅介護者リフレッシュ事業 263 千円充当 )  
 ( 在宅介護用消臭器購入補助事業 29 千円充当 )  
 ( 在宅介護者向け寝具洗濯乾燥サービス補助事業 16 千円充当 )  
 ( そったく基金杯健康増進事業 200 千円充当 )  
 ( 福祉サービス券交付事業 6,061 千円充当 )  
 ( 健康づくり推進モデル事業 1,574 千円充当 )  
 ( 特産品販路開拓事業 3,422 千円 )  
 ( 特産品開発事業 1,890 千円充当 )  
 ( 直売所振興事業 3,266 千円充当 )  
 ( 重点品目産地強化対策事業 1,220 千円充当 )  
 子ども未来基金繰入金 11,420 千円 ( H23 : 0 千円 ) ( + 11,420 千円 )  
 ( 保育所創設事業負担金へ全額充当 )  
 筑前町平和基金繰入金 3,000 千円 ( H23 : 0 千円 ) ( + 3,000 千円 )  
 ( 大刀洗平和記念館企画展事業へ全額充当 )

【特別会計繰入金】

工業用地造成事業特別会計繰入金 205 千円 ( H23 : 1,214 千円 )  
 ( 1,009 千円 )

町債 ( 968,566 千円 )

H23 : 1,172,854 千円 ( 204,288 千円 ) ( 17.4% )

\* 主に水道事業への一般会計出資債の減により、対前年度 204,288 千円減の 17.4% となりました。

合併特例債 244,800 千円 ( H23 : 206,700 千円 ) ( + 38,100 千円 )  
 ( 主要生活道路整備事業 157,000 千円 )  
 ( 南北線道路改良事業 35,200 千円 )  
 ( 篠隈地区都市再整備事業 37,600 千円 )  
 ( 東小田小学校トイレ改修事業 15,000 千円 )

臨時財政対策債 565,566 千円 ( H23 : 580,354 千円 ) ( 14,788 千円 )

公営住宅建設事業債 3,400 千円 ( H23 : 0 千円 )

災害復旧事業債 4,000 千円 ( H23 : 4,500 千円 ) ( 500 千円 )

一般会計出資債 ( 水道事業 ) 150,800 千円 ( H23 : 381,300 千円 )

( 230,500 千円 )

住宅新築資金等貸付事業特別会計の歳入内訳

\* 歳入状況の中に含まれている住宅新築資金等貸付事業特別会計の歳入内訳は、次の通りです。

県支出金	739 千円	財産収入	168 千円	繰越金	6,804 千円
諸収入（貸付金元利収入）	6,520 千円			計	14,231 千円



### (3) 歳出の状況

歳出については、前年度と比較し、24年度の大雨による農林業施設や道路、河川の災害復旧費（+63,515千円）が主として増となりましたが、衛生費（293,158千円）土木費（126,421千円）民生費（115,503千円）公債費（51,498千円）等が減となり、歳出総額 11,257,275千円、対前年度 759,615千円減の 6.3%となりました。

以下、目的別と性質別で報告します。

目的別経費の状況（表3参照）

表3 普通会計の目的別歳出の状況

(単位:千円・%)

区 分	平成24年度		平成23年度		対前年度	
	歳出額	構成比	歳出額	構成比	増減額	増減率
議 会 費	110,004	1.0	129,774	1.1	▲ 19,770	▲ 15.2
総 務 費	1,451,511	12.9	1,515,867	12.6	▲ 64,356	▲ 4.2
民 生 費	3,088,349	27.4	3,203,416	26.7	▲ 115,067	▲ 3.6
衛 生 費	1,387,595	12.3	1,680,722	14.0	▲ 293,127	▲ 17.4
労 働 費	2,811	0.0	33,346	0.3	▲ 30,535	▲ 91.6
農林水産業費	494,206	4.4	561,625	4.7	▲ 67,419	▲ 12.0
商 工 費	27,354	0.2	27,581	0.2	▲ 227	▲ 0.8
土 木 費	1,357,900	12.1	1,484,321	12.3	▲ 126,421	▲ 8.5
消 防 費	469,517	4.2	490,304	4.1	▲ 20,787	▲ 4.2
教 育 費	874,832	7.8	908,755	7.6	▲ 33,923	▲ 3.7
災 害 復 旧 費	93,902	0.8	30,387	0.2	63,515	209.0
公 債 費	1,899,294	16.9	1,950,792	16.2	▲ 51,498	▲ 2.6
合 計	11,257,275	100.0	12,016,890	100.0	▲ 759,615	▲ 6.3

議会費(110,004千円)

\*主に議員の退職に伴う報酬及び議員共済費の減(20,354千円)により、対前年度 19,770千円減の 15.2%となりました。

総務費(1,451,511千円)

\*主に、基金元利積立増があったものの、前年度事業の電算関係サーバー等更新業務委託の減(71,190千円)太陽光発電システム施設整備事業の減(36,894千円)固定資産航空写真撮影業務委託の減(10,269千円)普通建設事業の減(20,048千円)等により、対前年度 64,356千円減の 4.2%となりました。

民生費(3,088,349千円)

\*主に、保育所創設・増築等負担金(+102,773千円)が増となったものの、国民健康保険事業特別会計繰出金(法定外)(100,000千円)介護基盤整備関係補助金(介護基盤緊急整備補助金、介護施設開設準備特別対策事業費補助金75,560千円)障害者福祉国県負担金補助金返還(15,342千円)こども未来館トイレ改修工事(11,120千円)等の減により、対前年度 115,067千円減の 3.6%となりました。

衛生費(1,387,595 千円)

\*主に上水道事業出資金( 150,000 千円) 上水道給水装置整備事業( 102,188 千円) 県南水道企業団出資金( 80,500 千円) 予防接種(子宮頸がん)委託事業( 11,128 千円)の減等により、対前年度 293,127 千円減の 17.4%となりました。

労働費(2,811 千円)

\*H23 年度と同じく一般会計予算上に労働費の計上はありませんが、統計上は緊急雇用創出事業関係は、労働費に計上することとなっています。昨年度と比較し、緊急雇用創出事業の減により、対前年度 30,535 千円減の 91.6%となりました。

農林水産業費(494,206 千円)

\*主に、赤坂地区農業農村整備事業( 49,939 千円) 園芸農業対策事業費補助金( 14,262 千円) 荒廃森林再生事業施業委託料( 12,243 千円) 活力ある高収益型園芸産地育成事業( 10,555 千円)等が減となり、下堤地区農村環境整備事業(+ 23,324 千円)が増加したものの、対前年度 67,419 千円減の 12.0%となりました。

商工費(27,354 千円)

\*主に、筑前町商工会補助金( 4,024 千円)の減により、対前年度 227 千円減の 0.8%となりました。

土木費(1,357,900 千円)

\*主に、町営住宅篠隈団地建替工事(+ 104,371 千円)の増があるものの、多目的運動公園整備事業( 173,992 千円) 篠隈地区都市再整備事業( 33,161 千円) 道路新設改良工事( 18,707 千円) 南北線道路整備事業( 18,183 千円)の減等により、対前年度 126,421 千円減の 8.5%となりました。

消防費(469,517 千円)

\*主に、広域常備消防負担金( 5,187 千円)の減や、23 年度事業である自主防災組織育成備品購入( 3,524 千円) 防災行政無線統合整備調査事業( 2,121 千円) 防火水槽改修工事( 1,433 千円)等の減により、対前年度 20,787 千円減の 4.2%となりました。

教育費(874,832 千円)

\*主に、三輪小学校給食及び図書館の委託への切替による人件費( 27,291 千円)の減、23 年度事業であった三並小学校屋外トイレ下水道工事( 14,018 千円) 三輪小学校屋外トイレ新設工事( 8,998 千円) 自治公民館等コミュニティ整備等補助金( 9,183 千円) 他消耗品等の減により、対前年度 33,923 千円減の 3.7%となりました。

災害復旧費(93,902 千円)

\*主に、本年度も梅雨前線豪雨による災害復旧を行いました。農業用施設(+35,076千円)等の増により、対前年度63,515千円増の+209.0%となりました。

公債費(1,899,294 千円)

\*主に、昨年度に引き続き安定した財政運営をおこなってはいますが、元金償還(14,664千円)の減等により、対前年度51,498千円減の2.6%となりました。

元金償還額(通常分) 1,386,756千円(H23: 1,401,420千円 14,664千円)  
 繰上償還額 155,554千円(H23: 156,304千円 750千円)  
 利子償還額 316,907千円(H23: 332,985千円 16,078千円)

性質別経費の状況(表4参照)

表4 普通会計の性質別歳出の状況

(単位:千円・%)

区 分	平成24年度		平成23年度		対前年度	
	歳出額	構成比	歳出額	構成比	増減額	増減率
歳出総額	11,257,275	100.0	12,016,890	100.0	▲759,615	▲6.3
義務的経費	4,835,193	43.0	4,946,120	41.2	▲110,927	▲2.2
人件費	1,492,656	13.3	1,579,230	13.1	▲86,574	▲5.5
扶助費	1,443,253	12.8	1,416,103	11.8	27,150	1.9
公債費	1,899,284	16.9	1,950,787	16.2	▲51,503	▲2.6
投資的経費	1,067,872	9.5	1,325,550	11.0	▲257,678	▲19.4
うち人件費	26,117		32,346		▲6,229	▲19.3
普通建設事業	973,970	8.7	1,295,163	10.8	▲321,193	▲24.8
災害復旧費	93,902	0.8	30,387	0.3	63,515	209.0
その他の経費	5,354,210	47.5	5,745,220	47.8	▲391,010	▲6.8
物件費	1,530,472	13.5	1,664,336	13.8	▲133,864	▲8.0
維持補修費	102,159	0.9	101,206	0.8	953	0.9
補助費等	1,507,613	13.4	1,583,032	13.2	▲75,419	▲4.8
積立金	478,225	4.2	339,720	2.8	138,505	40.8
投資及び出資金・貸付金	152,122	1.4	382,124	3.2	▲230,002	▲60.2
繰出金	1,583,619	14.1	1,674,802	13.9	▲91,183	▲5.4

構成比については、端数処理のため合計と合わないことがあります。

義務的経費(4,835,193 千円)

\* 義務的経費は、任意に削減できない硬直性の極めて強い経費であり、歳出に占める割合が高くなるほど、財政構造の弾力性が失われるものです。義務的経費の歳出総額に占める割合は 43.0%で、対前年度 110,927 千円減の 2.2%となりました。

人件費(1,492,656 千円)

\* 主に職員数の減、共済組合等負担金の減( 30,791 千円)等により、対前年度 86,574 千円減の 5.5%となりました。

扶助費(1,443,253 千円)

\* 主に、自立支援給付費(+50,784 千円)、保育所運営負担金(+12,249 千円)、重度障害者医療費(+5,062 千円)等の増により、対前年度 27,150 千円増の+1.9%となりました。

公債費(1,899,284 千円)

\* 主に、昨年度に引き続き安定した財政運営をおこなっていきませんが、元金償還(14,664 千円)の減等により、対前年度 51,503 千円減の 2.6%となりました。

投資的経費(1,067,872 千円)

\* 投資的経費の歳出総額に占める割合は、9.5%となり、普通建設事業費の減により、対前年度 257,678 千円減の 19.4%となりました。

普通建設事業費(973,970 千円)

\* 普通建設事業費全体では、対前年度 321,193 千円減の 24.8%となりました。

うち補助事業費(572,662 千円)

\* 補助事業費全体では、対前年度 57,631 千円減の 9.1%となりました。

主な増額要因事業

\* 町営住宅篠隈団地建替工事(+104,371 千円)

\* 保育所創設・増築等負担金(+102,773 千円)

主な減額要因事業

\* 都市公園等整備事業( 173,992 千円)(H23: 348,920 174,928)

\* 太陽光発電システム施設整備事業( 36,894 千円)

\* 篠隈地区都市再整備事業( 33,161 千円)(H23: 99,950 66,789)

\* 南北線道路改良工事( 19,650 千円)(H23: 82,650 63,000)

うち単独事業費(365,263 千円)

\* 単独事業費全体では、対前年度 254,327 千円減の 41.0%となりました。

主な増額要因事業

\* 農業農村整備事業(下堤地区)(+23,324 千円)(H23: 0 23,324)

#### 主な減額要因事業

- \* 上水道給水装置整備事業 ( 102,188 千円 )( H23 : 137,003 34,815 )
- \* 農業農村整備事業 ( 赤坂地区 )( 49,939 千円 )( H23 : 49,939 0 )
- \* バス停駐輪場整備事業 ( 20,048 千円 )( H23 : 31,753 11,705 )
- \* 道路新設改良事業 ( 18,707 千円 )( H23 : 121,326 102,619 )

#### 災害復旧費(93,902 千円)

- \* 主に H24 年度の梅雨前線豪雨による災害復旧を行いました。対前年度 63,515 千円増の + 209.0%となりました。

#### その他の経費(5,354,210 千円)

- \* その他の経費の歳出総額に占める割合は、47.5%となり、維持補修費や積立金が増となったものの、物件費、補助費等、投資及び出資金・貸付金等の減により、対前年度 391,010 千円減の 6.8%となりました。

#### 物件費(1,530,472 千円)

- \* 物件費全体では、対前年度 133,864 千円減の 8.0%となりました。

主な内容は次の通りです。

賃金は、嘱託職員報酬等の減 ( 11,907 千円 ) により、対前年度 11,907 千円減の 5.5%となりました。

需用費は、主に太陽光発電システム設置による水光熱費の減 ( 4,076 千円 ) や防災対策事業による消耗品等の減 ( 3,410 千円 ) により、対前年度 17,103 千円減の 6.4%となりました。

備品購入費は、主に H23 年度の図書館備品 ( 主に書籍代 ) の購入 ( 8,387 千円 ) 自主防災組織育成備品 ( 3,524 千円 ) 等の減により、対前年度 10,243 千円減の 22.7%となりました。

委託料は、主に H23 年度の電算関係サーバー等更新業務委託 ( 71,190 千円 ) 固定資産航空写真撮影業務委託 ( 10,269 千円 ) の減や、荒廃森林再生事業整備施設委託料 ( 12,243 千円 ) 子宮頸がん予防接種委託料 ( 11,128 千円 ) 等の減により、対前年度 93,438 千円減の 9.8%となりました。

#### 補助費等(1,507,613 千円)

- \* 主に、H23 年度の介護基盤緊急整備事業補助関係 ( 75,560 千円 ) 障害者福祉国県負担金補助金返還 ( 15,342 千円 ) 園芸農業対策事業費補助金 ( 14,262 千円 ) 消火栓設置工事負担金 ( 13,114 千円 ) 等の減により、対前年度 75,419 千円減の 4.8%となった。

#### 積立金(478,225 千円)

- \* 主に、地域振興基金積立 ( 102,987 千円 ) の減があるものの、財政調整基金元金積立 ( + 280,163 千円 ) 農業振興基金積立 ( + 65,000 千円 ) の増により、

対前年度 138,505 千円増の + 40.8%となりました。

投資及び出資金・貸付金(152,122 千円)

\*主に、上水道事業出資金( 150,000 千円)、県南水道企業団出資金( 80,500 千円)の減により、対前年度 230,002 千円減の 60.2%となりました。

繰出金(1,583,619 千円)

\*主に、国保特別会計繰出金( 100,000 千円)の減により、対前年度 91,183 千円減の 5.4%となりました。

(4) 経常収支比率

\* 経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のような毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補てん債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合のことをいい、この比率が高いほど財政構造の硬直化が進んでいることを表します。

\* H24 年度決算においては、人件費は減、扶助費は増、物件費、繰出金、補助費等については決算額自体では減となったものの、内訳の経常的経費は増であったことから、経常一般財源が増え、+2.1%の92.6%となりました。

（臨時財政対策債を除くと99.9%で、昨年度から+2.1%となりました。）

（算式）

$$\frac{\text{経常経費充当の一般財源額}}{\text{経常一般財源の総額} + \text{減税補てん債特例分} + \text{臨時財政対策債}} \times 100(\%)$$

（単位：千円、%）

	平成 24 年度	平成 23 年度	増 減
経常経費充当の一般財源額	7,147,507	7,023,905	123,602
経常一般財源の総額	7,157,126	7,181,972	24,846
減税補てん債特例分	0	0	0
臨時財政対策債	565,566	580,354	14,788
+ +	7,722,692	7,762,326	39,634
経常収支比率	92.6	90.5	2.1
経常収支比率（ と を除く）	99.9	97.8	2.1

経常経費充当の一般財源額の内訳

（単位：千円）

	平成 24 年度		平成 23 年度		増 減 (A) - (B)
	決算額	経常経費充当の一般財源額(A)	決算額	経常経費充当の一般財源額(B)	
人件費	1,492,656	1,357,418	1,579,230	1,427,831	70,413
物件費	1,530,472	1,057,214	1,664,336	975,285	81,929
維持補修費	102,159	82,246	101,206	79,908	2,338
扶助費	1,443,253	488,308	1,416,103	441,303	47,005
補助費等	1,507,613	1,273,947	1,583,032	1,201,985	71,962
公債費	1,899,284	1,657,161	1,950,787	1,701,973	44,812
投資及び出資金・貸付金	152,122	0	382,124	0	0
繰出金	1,583,619	1,231,213	1,674,802	1,195,620	35,593
合計	9,711,178	7,147,507	10,351,620	7,023,905	123,602

## (5)基金の状況

基金の状況は、積立を 478,225 千円、取崩しを 86,688 千円行ない、普通会計で対前年度 391,537 千円 (+5.4%) 増の 7,689,075 千円の基金高となりました。主に、財政調整基金への積立 (280,163 千円) 農業振興基金への積立 (65,000 千円) 公共施設等整備基金への積立 (30,632 千円) 多目的運動広場整備基金への積立 (12,425 千円) を行なう反面、多目的運動公園整備のための公共施設等整備基金の取崩し (41,740 千円) その他、農業振興基金 (11,107 千円) 子ども未来基金 (11,420 千円) 平和基金 (3,000 千円) の取崩しを行ない、各事業を展開しました。

(単位：千円)

基金名	H23 年度末高	H24 積立額			H24 取崩額	H24 年度末高
		元金	利子	計		
財政調整基金	2,675,631	280,163	30,654	310,817	0	2,986,448
減債基金	373,714	0	7,208	7,208	0	380,922
地域振興基金	1,042,936	2,416	21,368	23,784	0	1,066,720
公共施設等整備 基金	1,936,976	30,632	22,445	53,077	41,740	1,948,313
農業振興基金	60,947	65,000	709	65,709	11,107	115,549
退職手当準備基金	50,278	0	564	564	0	50,842
振興基金 (合併基金)	816,667	0	0	0	0	816,667
多目的運動広場 整備基金	66,614	12,425	762	13,187	0	79,801
子ども未来基金	62,584	0	716	716	11,420	51,880
ふるさと応援基金	1,996	475	26	501	0	2,497
平和基金	7,951	103	92	195	3,000	5,146
そったく基金	186,522	0	2,140	2,140	19,421	169,241
住宅新築資金等 特会財政調整基金	14,722	159	168	327	0	15,049
合計(普通会計)	7,297,538	391,373	86,852	478,225	86,688	7,689,075
合計(一般会計)	7,282,816	391,214	86,684	477,898	86,688	7,674,026



(6) 町債の状況

町債の状況は、968,566千円の借入に対し、155,554千円の繰上償還を含め、1,582,310千円の元金償還をおこない、対前年度613,744千円( 3.3%)減の18,040,689千円の町債残高となりました。

(単位：千円)

	H23 年度末 元金残高	H24 借入額	H24 償還額			H24 年度末 元金残高
			元金	利子	計	
一般会計	18,644,257	968,566	1,579,789	316,356	1,896,145	18,033,034
うち 合併特例債分	5,518,034	244,800	619,397	81,441	700,838	5,143,437
住宅新築資金等 特別会計	10,176	0	2,521	551	3,072	7,655
合 計	18,654,433	968,566	1,582,310	316,907	1,899,217	18,040,689